

2018 年度 「テーマで話す日本語会話教室」 実施報告書

ゼロから

～外国人・日本人が一緒に作った日本語教室～



2019 年 3 月 公益財団法人横浜市国際交流協会 (YOKE)

URL <https://www.yokeweb.com/>
Email c-nihongo@yoke.or.jp

はじめに

この報告書は、横浜市国際交流協会（YOKE）が2018年度に行った「テーマで話す日本語会話教室」（全5回）の実施報告です。

当協会では、2012年度から、日本語教室運営への外国人当事者（日本語学習経験者）の参画を前提とした、「日本語教室体験研修」を行ってきました。今回の日本語会話教室では、体験研修の取り組みにならない、日本語教室を作る側（日本語サポーター）を、外国人（注）と日本人ほぼ同数とし、お互いの経験を活かした「多文化共生」の教室づくりを目指しました。日本語学習者がたくさん話す事を大切に考え、興味のあるテーマで話す日本語教室活動を行いました。また、日本語サポーター、日本語教室学習者ともに、日本語の運用力に関わらず、その人なりの言葉で表現することを大事にしました。

この活動を通じて、「テーマで話す日本語会話教室」は、そこに集った人々が、安心して、自由に自分の想い、考えなどを話せる場となり、生き生きとしたやり取りが行われました。また、教室を作る過程で、様々な背景や経験をもった日本語サポーター同士に深いコミュニケーションがありました。

日本語教室に関わったすべての方に感謝するとともに、この報告書が地域の活動のヒントとなれば幸いです。

（注）外国人：この報告書では、日本語学習経験のある方、日本語を母語としない方など。当事者とともに日本語教室を作るという趣旨から、あえて「外国人」「日本人」という表現をしています。

2019年3月 公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）

目次

◇はじめに	P2
◇「テーマで話す日本語会話教室」実施 概要	P3
◇1 日本語教室の企画～日本語サポーター募集から教室の企画まで	P4-P5
◇2 日本語教室の実施「テーマで話す日本語会話教室」	P6-P7
◇3 日本語教室ふりかえり	P8-P10
(1) 学習者の声 (2) 日本語サポーターの声	
◇4 学習者がたくさん話すための工夫	P11-P14
(1) 進行表の作成 (2) ワークシートの作成 (3) 語彙表の作成	
(4) 外国語の活用	
◇5 参考資料	P15-P16
(1) 学習者募集チラシ (2) 学習者向けアンケート	
◇6 企画運営者のメッセージ	
「テーマで話す日本語会話教室」をふりかえって	P17-P18
(1) 日本語サポーター (2) 運営サポーター・事務局（YOKE）	

「テーマで話す日本語会話教室」実施 概要

趣 旨 YOKE が 2012～2017 年度に実施した「『横浜に暮らす人のための日本語教室』体験研修」受講経験者が、研修の学びを生かして、自らの手で地域日本語教室を作り、実践します。

教室の目的

- ・日本語がたくさん話せる教室を作ります。
- ・学習者が持っている力が発揮できる教室を作ります。
- ・日本語学習経験者（外国人）と母語話者（日本人）と一緒に、教室活動を作ります。

教室の名称 「テーマで話す日本語会話教室」

日 程 2018 年 10 月 19 日～11 月 16 日の毎週金曜日 13：30～15：00（全 5 回）

会 場 横浜市市民活動支援センター（横浜市中区桜木町）

主 催 公益財団法人横浜市国際交流協会

参加者

	人数	内訳
日本語サポーター	9 人 (延べ 42 人)	外国人 4 人(延べ 19 人) (韓国、台湾、中国、ドイツ) 日本人 5 人(延べ 23 人)
運営サポーター	2 人 (延べ 10 人)	外国人 1 人(延べ 5 人) (韓国) 日本人 1 人(延べ 5 人)
日本語教室学習者	18 人 (延べ 55 人)	韓国、タイ、台湾、中国、フィリピン、フランス、ペルー

運営サポーター
(日本語教室企画運営のサポート)



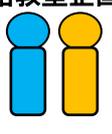
外国人 1 人、日本人 1 人

【日本語教室では】

- ・全体の様子を見守る。
- ・適宜、グループに入って活動する。

☆企画運営にあたっては、日本語サポーターのサポート。企画会議やふりかえりに同席、意見交換に参加する。

日本語サポーター
(日本語教室企画運営)

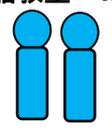


外国人 4 人、日本人 5 人

【日本語教室では】

- ・進行役
- ・学習者が話しやすい、居心地の良い環境づくりに努める
- ・発話の手助けをする

日本語教室学習者
(日本語教室への参加)



外国人 18 人

【日本語教室では】

- ・教室活動への参加。
- ・みんなで話すトピックを一緒に考える。

日本語教室企画会議の実施（全 3 回）

日 程 7 月 6 日、9 月 7 日、10 月 5 日 13：30～15：30

参加者 日本語サポーター 9 人（外国人 4 人、日本人 5 人） 延べ 24 人（日本人 14 人、外国人 10 人）
 運営サポーター 2 人（外国人 1 人、日本人 1 人） 延べ 6 人（日本人 3 人、外国人 3 人）

1 日本語教室の企画 ～日本語サポーター募集から教室の企画まで～

(1)日本語サポーターの募集 (6月)

よこハマ地域日本語実践もちより会（実践もちより会）のメンバーのみなさんに、趣旨説明と参加呼びかけを行いました。

*** 実践もちより会って？ ***

YOKE 日本語教室体験研修参加者を中心とした、地域日本語教室での活動者のネットワークです。年2回程度の会合とMLなどを活用し、自分の実践の共有や情報交換を行っています。日本人・外国人合わせて約70人が参加しています。



(2)企画会議 (7月・9月・10月)

呼びかけに興味をもったみなさんと、日本語教室準備のための企画会議を3回行いました。

多様な背景を持つメンバーが、それぞれの日本語学習に関する経験や生活経験を共有し、どんな日本語教室を作るか、熱心な話し合いが行われました。教室のコンセプトについて議論するところから始め、いろんな方向へ話が拡散したのちには、皆の深い理解と連帯感が生まれました。



まずは日本語サポーター同士が、お互いを知り合うことから！
「どうして参加したいと思いましたか？」

外国人メンバー

- ・「手伝いたい」
- ・「自分の日本語教室での経験から、日本にいる人に提案したい。」
- ・「学習者自身がテーマを出して会話する教室をしたい。」

日本人メンバー

- ・「会話教室」ということばに惹かれた。
- ・積み上げではなく、「テーマで話す」という教室名に引かれた。
- ・「ゼロから教室を始めるところに興味をもった。」
- ・体験研修に参加した時、学習者が喜んでいて。今回の経験を自分の教室に活かしたい。
- ・体験研修に参加した時に、自分の教室の学習者が普段と表情が違っていたのが印象的だった。

企画会議で決まったこと（一部）

どんな教室を作る？（＝教室のゴール）

「だれもが安心して自由に話せる日本語教室」

教室活動の方法 テーマごとのグループ学習。4つのテーマを設定する。

【テーマの選び方】 学習者の要望も聞く（申込用紙に、興味のあることを書いてもらう）。

【グループわけの方法】興味のあるテーマでグループわけ（日本語レベルにこだわらない）

日本語ビギナーのサポート方法

- ・多言語語彙リストを準備する。
- ・その日の教室の最後に、次回に話すトピックを伝えておく。（学習者自身が準備をすることができる）

日本語サポーターの役割

学習者の「伝えたい」「話したい」をサポートする。
語彙表やワークシートを準備する。

日本語サポーターのペア

外国人と日本人がペアを組んで、各グループを担当する。

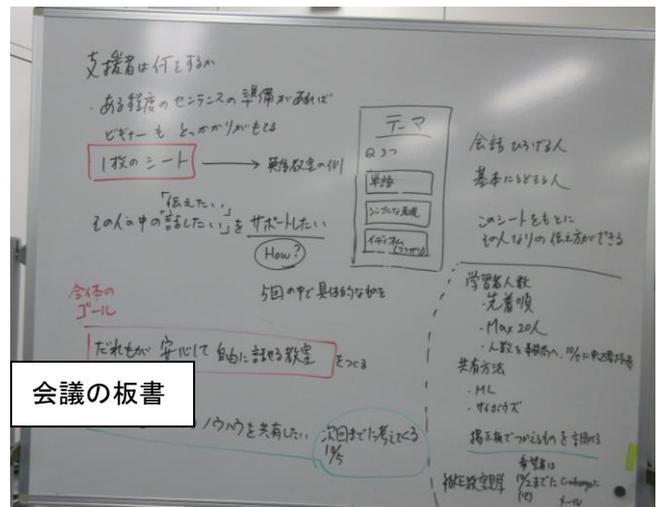
《 企画会議でのやりとりから 》

■「待つことが大事」というものの・・・

「発話を待つのが大事」とよくいいますが、日本語学習経験者である外国人メンバーの方からは、自分が勉強した時の話がありました。

「ボランティアが待っていると思うと、焦るんですよ」「自分が言いたいことのヒントが欲しいと思うことがあります」

経験談から「待つ」と言っても、相手や状況をよく見ることが大事だと学びました。



会議の板書

■日本語ビギナーの気持ちになってみましょう

韓国出身の日本語サポーターによる、韓国語のミニレッスンを体験しました。



A: 나는 (사과)를 좋아해요.
na neun (sa gwa) leul joh- a hae yo.
わたしはりんごが大好きです。

Q: 당신은 (무엇)을 좋아해요?
dangsin- eun (mu eo)s-eul joh- a hae yo?
あなたはなにが大好きですか。

A: 나는 ()를 좋아해요.
na neun ()leul joh- a hae yo.



ttalgi banana podo olenji aeng-du bocksung-a

【感想】

- もっとやり取りをしたいけど、言葉が分からない・・・。
- ローマ字の表記の利点、欠点がわかった。
- ひらがながあると、分かる。

このワークショップを体験することで、日本語ビギナーには、どのような言葉や絵が必要なのかを考えるきっかけとなりました。

2 日本語教室の実施 「テーマで話す日本語会話教室」(全5回)

学習者募集を経て、いよいよ日本語教室が始まりました！

第1回

2018年10月19日

1 全体活動

これから一緒に活動する仲間を知るため、そして、リラックスしてこれから活動できるように、学習者も日本語サポーターも全員でゲームを交えた自己紹介をしました。



ゲームでリラックス



みんなの前で自己紹介

2 グループ活動(テーマ別活動)

※ のコメントは、1~5回の活動内容です。

グループは4つ。今日のトピック(話題)をそれぞれ話し、次回のトピックを決めます。

料理グループ



各国の料理の話や、作り方等。写真を見せながら、さまざまなトピックで話が盛り上がりました。

生活グループ



毎回トピックを変える予定でしたが、学習者の「もっと、知りたい!」の声を受け、「病気・病院」は2回とりあげました。

旅行グループ



他グループから移ってきた学習者。旅行グループで話すことを事前に知っていたので、準備して参加してくれました。

文化グループ



「日本の面白い祭り」に始まり、「日本のお正月」「日本の神社・お寺」「茶道」と、自然に次回のトピックが決まりました。

《安心して話すための「活動のルール」》

- ・話しすぎない。聞きすぎない。
- ・「わかりません」はOK。
- ・「それはだめです」は言わない。

3 全体共有

活動の最後に、「今日、話したこと」を、みんなの前で発表します。



グループの学習者が順番に、毎回発表します。発表者は、ドキドキ。でも、グループの皆さんの応援で、最後まで、発表する事ができました。次回のトピックも紹介しました。

第2～4回

2018年10月26日・11月2日・9日

1 グループ活動（テーマ別活動）

第1回の1-2と同じ。

学習者は、前回と異なるグループにいてもokです。

2 全体共有

第1回の1-3と同じ。

第5回

2018年11月16日

1 グループ活動（テーマ別活動）

第1回の1-2と同じ。

2 全体共有

第1回の1-3と同じ。

3 交流会

交流会では、5回の日本語教室の感想を述べました。

学習者、日本語サポーター全員が、教室に参加してどうだったかを話し、日本語教室を終了しました。



交流会

各グループで話し合っただけ決めたトピック（話題）

グループ（テーマ）	トピック（全5回）
生活グループ	「日常生活で話したいこと」⇒「小学校」⇒「病気・病院」×2回 ⇒「ごみの分け方」
旅行グループ	「日本で旅行したところ」⇒「私の行きたい所」⇒「1泊2日の旅行計画を立てる」⇒「おすすめの旅行」⇒「旅行についてインタビュー」
文化グループ	「文化について」⇒「日本の面白い祭り」⇒「日本の正月」 ⇒「日本の神社・お寺」⇒「茶道」
料理グループ	「きのうの晩ごはん」⇒「私の国の料理」⇒「料理の作り方」⇒「お弁当」⇒ 「今までで一番おいしかった/まずかった/食べたい/食べさせたい料理」

3 日本語教室ふりかえり (1)学習者の声

●良かったこと



- ・意見交換できる、ことばを練習できることがよかった。
- ・前より恐れずに話せるようになった。
- ・会話の練習がたくさんできた。日本人の先生と日本語で交流するときに、会話・語彙・表現力が大きく進歩した。
- ・リラックスして楽しい雰囲気学ぶ。
- ・たくさんわらいました。
- ・たくさんあたらしいことばをならいました。
- ・自分の好きな話題を選ぶこと。
- ・勉強できる内容によってグループが移動できること。
- ・日本の文化、旅行の話題は魅力がある。「聞く」練習になった。
- ・日本の習慣がわかって面白かった。
- ・日本の生活や他の国の習慣に触れることができよかった。最後の発表もいいと思う。

●良くなかったこと



- ・時間が短い。
- ・多くは理解できなかった。
- ・いろんな状況で皆が話しているが間違っていた日本語をなおしてほしい。
- ・もし、会話や文法に誤りがあるときは直してほしい。
- ・日本語のレベルでグループを分けた方が効果的。

学習者アンケート (多言語で作成しました)

“ห้องเรียนเกี่ยวกับหัวข้อการพูดบทสนทนาภาษาญี่ปุ่น”
 はな かわきょうしつ
 テーマで話す日本語会話教室

1 いつ参加しましたか、คุณเข้าร่วมตั้งแต่เมื่อไหร่?
 10月19日 10月26日 11月2日 11月9日 11月16日

2 この日本語教室は どうでしたか、คุณคิดว่าห้องเรียนภาษาญี่ปุ่นนี้เป็นอย่างไร?
 とても良かった (ดีมาก) よかった (ดี) あまりよくなかった (ไม่ค่อยดี) よくなかった (ไม่ดีเลย)

3 日本語でコミュニケーションができましたか、คุณสามารถพูดสื่อสารภาษาญี่ปุ่นได้หรือไม่?
 たくさんできた だいたいできた 少しできた あまりできなかった
 สามารถพูดได้มาก ส่วนใหญ่สามารถพูดได้ สามารถพูดได้เล็กน้อย พูดไม่ค่อยได้เลย

4 他の人の話は _____% ぐらい わかりましたか、
 ฉันเข้าใจประมาณ _____% เวลาที่พูดคุยกับคนอื่น

日本語が分からなくても楽しかった！

日本語があまり話せなかったり、他の人の話も半分も分からない学習者が、「この教室は楽しかった」「とても良かった」と解答しています。他の人の話が 5 パーセントだけ分かったという学習者も、例外ではなく、グループでの会話を楽しんでいたことが分かりました。教室の目標である「だれもが安心して自由に話せる教室」ができていたのかも知れません。

テーマで話す日本語会話教室 第1回 集計(抜粋)						
アンケート質問項目	この教室はどうか(4択)	日本語でコミュニケーションができたか(4択)	他の人の話は__%わかった	楽しかったか(4択)	良かったこと	良くなかったこと
Aさん	とても良かった	少しできた	5%	とても楽しかった	自分の好きな話題を選ぶこと	日本語のレベルでグループを分けた方が効果的
Bさん	とても良かった	少しできた	20%	とても楽しかった	たくさんのお話練習。先生はやさしい。皆、おもしろい。	
Cさん	とても良かった	少しできた	30%	とても楽しかった	リラックスして楽しい雰囲気学ぶ。	
Dさん	良かった	少しできた	40%	まあまあ楽しかった	トピック	多くは理解できなかった。
Eさん	良かった	だいたいできた	70%	まあまあ楽しかった	日本の文化、旅行の話題は魅力がある。聞く練習になった。日本の習慣がわかってとてもおもしろかった。	生活に必要な会話を増やしてほしい。いろんな状況で皆が話しているが、間違っていた日本語を直してほしい。
Fさん	良かった	たくさんできた	90%	とても楽しかった	勉強したい内容によってグループを移動できること。	

3 日本語教室ふりかえり (2)日本語サポーターの声

全5回の日本語教室が終了してから、「日本語サポーター振り返りの会」を行いました。

「印象に残ったこと」「学習者の変化」「教室のゴールに向かって工夫したこと」「サポーターの気づき」を付箋に書き出して共有し、この日本語教室が、どんな意味を持っていたかを話し合いました。



●印象に残ったこと

- ・ 毎回、自由にグループ（トピック）を選ぶこと。
- ・ トピックを聞いてよく調べて参加していた。積極的に勉強していた。
- ・ 学習者が自分でレポート等を準備することが楽しかったようだ。
- ・ 日本語を話す機会が少なく、日本語を話すことが非常に嬉しいとの発言があった。

●ゴールに向かって工夫したこと

- ・ 語彙リストの作成
- ・ 情報の収集、資料の準備
- ・ スマホ、写真、絵を利用した。
- ・ できるだけゆっくりしゃべった。
- ・ 通訳をした。
- ・ 積極的に質問した。
- ・ 学習者のうちで興味のあるようなトピックを選ぶようにした。

●学習者の変化

- ・ 最初は自分のレポートを読むのが中心だったが、最後は自ら自分の言葉で楽しく話せるようになった。
- ・ 発表するたびにだんだん自信がついていくようだった。
- ・ (日本語ビギナーも) 少しずつだが、慣れて、話に参加してきた。みんなに伝えようと写真や動画などよく準備していた。

●サポーターの気づき

- ・ 正しい日本語当を話すタイミングをどう取るか、どこまでいうか。
- ・ 待つということも大事だと感じた。
- ・ 資料を多く準備しすぎて、また学習者のレベル差もあって、サポーターと学習者の会話がほとんどとなり、学習者間の会話はあまりなかった。

「だれもが安心して自由に話せる日本語教室」に
なっていましたか

その他、ふりかえりの話題から

●外国人の日本語サポーターの役割は何でしたか？

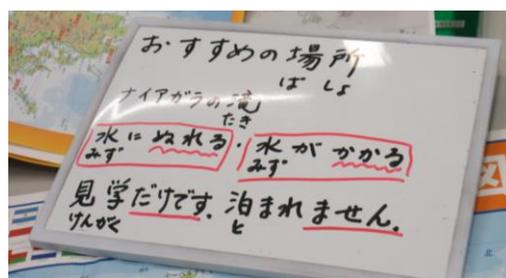
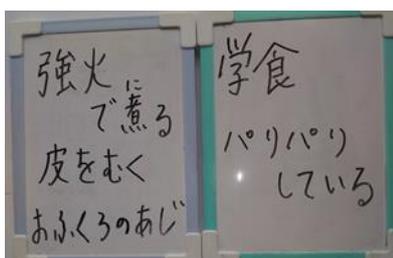
- 「日本語学習経験を活かしたことで、無理のない、学習者に寄り添った活動を企画することができました。」
- 「日本語学習経験があるから学習者の気持ちが分かり、緊張しないような雰囲気を作ってくれました。学習者も自由な雰囲気の中で、安心して、話をすることができました。」
- 「互いに価値観が異なるからこそ、色々な話の展開ができました。」

●外国人と日本人と一緒に作る教室と思ったのはどんな点でしたか？

- 「学習者が何を話したいのか？学習者の母語で聞いたり、日本語のふさわしい表現を探したり、それぞれができる方法で、一緒に言葉を探りました。」
- 「学習者の国の文化や日本文化など、知らない事は一緒に調べて、共に学びました。」
- 「教室活動の感想や意見などを、学習者と一緒に話し合いました。」

●「間違えた日本語を直して欲しい・・・」という、学習者の声をどう思いますか。

- 「正解を示すというより、一緒に言葉を探っていく時間が大事。」
- 「この教室は間違っているところを直すことが目的ではなく、その人らしさを表現できる日本語を使うこと。そのためにサポートすることが大事。」
- 「相手によっても違う。回を重ねるごとに、いつどう伝えるかがわかってくる。」
- 「最後にホワイトボードに書いたことをまとめてもう一度伝えて、うまくいった。」



***** 日本語教室こぼれ話 ***** トムヤムクンに牛乳？！

タイのAさん「私はトムヤムクンにミルクを入れます。」
みんな「えっ！ココナッツミルクは？」
Aさん「いれません。」 みんな「どうして？」
皆の??の顔を見て、必死で答えようとするAさん。伝えたいことがあると一生懸命に言葉を探して伝えてくれます。やっと、タイには冷蔵庫がないこと、ココナッツミルクは傷みやすいので牛乳を代わりに使うことがわかりました。
このプロセスで、「いれます」「牛乳」「冷蔵庫がありません」「悪くなる」の表現を身に付けました。



4 学習者がたくさん話すための工夫 (1)進行表の作成

活動の流れが誰にでも分かるように、その日の活動の流れを、多言語で作成しました。

はな にほんごかいわきょうしつ
 テーマで話す日本語会話教室 (5回) 金曜日 13:30~15:00

① 1:30~2:40

◆グループで話します group talk 我们将分组讨论 พูดตามกลุ่ม 그룹 토크

しょうがっこう 小学校	わたしの い 行きたい ところ	にほん 日本 の おもしろい まつり	わたしの くに 国 の りょうり
せいかつ 生活 dailylife 기와 日常生活 การใช้ชีวิตประจำวัน 	りょこう 旅行 trip 여행 旅游 การเดินทาง 	ぶんか 文化 culture 문화 文化 วัฒนธรรม 	りょうり 料理 cooking 조리 烹饪 การปรุงอาหาร 

◆来週のトピックを決めます

decide next week's topic 决定下周的主题 การกำหนดหัวข้อในสัปดาห์หน้า 다음주의 주제 결정

② 2:40~3:00 発表タイム Presentation 介绍 การประกาศ 발표

- ・きょう
 今日やったこと what we did today 今天的工作 สิ่งที่ทำกันวันนี้ 우리가 오늘 한 일
- ・らいしゅう
 来週のトピック next week's topic 下周的话题 หัวข้อสัปดาห์ถัดไป 다음 주 주제

◆アンケート questionnaire 问卷调查 แบบสอบถาม 질문 사항

4 学習者がたくさん話すための工夫 (2)ワークシートの作成

教室活動にあたっては、グループごとにワークシートを作成しました。

だいいっかい てーま はなすにほんごかいわ 「第一回 テーマで話す日本語会話」

旅行グループ 2018年10月19日 (金)

※ 今日のテーマ： 日本で旅行をしたことがありますか？

しつもん (質問)

1. 日本で旅行(行ったところ)をしたことがありますか？
2. (旅行をした) 行ったところはどんなところですか？(でしたか?) / どうでしたか？
3. 行ったところで買った物はありましたか？

(ことば)

〇ばく〇にち おみやげ やけい けいき ちず かんこう
 〇泊〇日 お土産 夜景 景気 地図 観光
 せんおん とも まあまあ あまり 困る 大変(な)
 たの 楽しい おいしい おもしろい つか 疲れる

しやうげん (表現)

- ★～ことがあります (例：函館に行ったことがあります)
- ★～くて(で)～です(でした) (例：イカはとても新鮮でおいしかったです)
- ★～たり、～たり (例：新鮮な魚をたべたり、お酒をのんだり、たのしかったです)
- ★～とき、～です・ます(でした・ました) (例：函館に行ったとき、朝市場に行きました)
- ★いちばん～～たことは、～たことです
(例：一番たのしかったことは、函館の夜景を見に行ったことです)
- ★～と思います(ました) (例：函館の夜景はとてもきれいだと思いました)

(メモ memo)

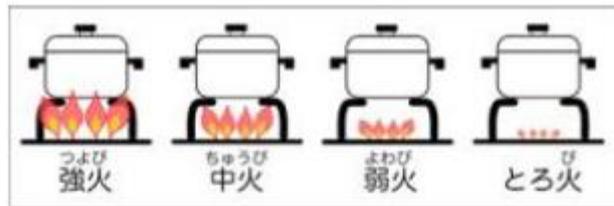
きょうはな か
※今日話したことを書いてみましょう

☛ 日本で旅行をしたことがある

- ★ いつ? ()。
- ★ だれと? ()。
- ★ どこへ(に)行った? ()。
- ★ どうやって? ()。
- ★ なにをしに? ()。
- ★ どうだった? ()。

4 学習者がたくさん話すための工夫 (3)語彙表の作成

絵や写真を付けて、言葉がイメージできるようにしました。



あらう



皮をむく



きる



しぼる



おろす



みずけをきる



にる



あげる



やく



いためる



むす



たく



まぜる



かける



わかす



ゆでる

<https://ord.yahoo.co.jp/o/image/RV=1>

4 学習者がたくさん話すための工夫 (4)外国語の活用

多言語の語彙表を作りました。また、同じ言語を話せる人が、必要に応じてサポートしました。

<料理のことば>



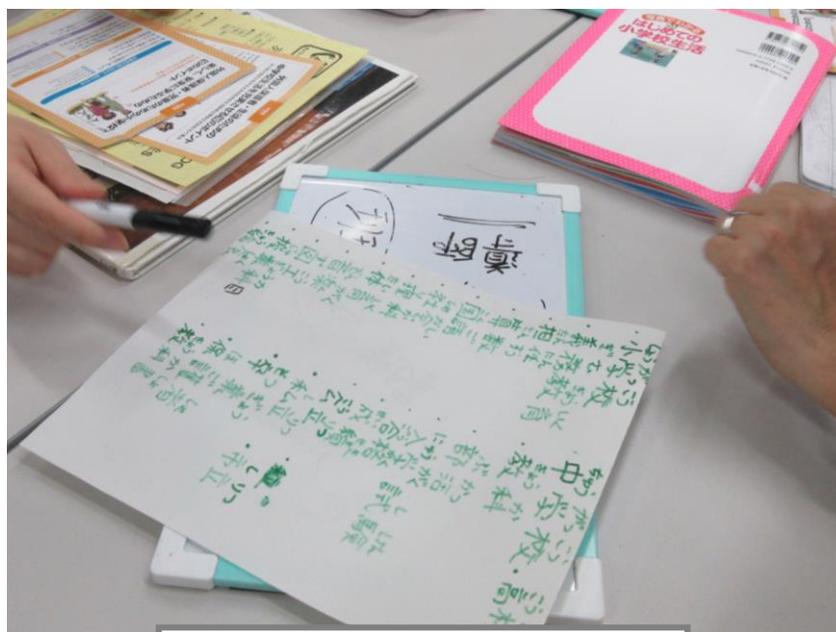
自分の言いたいことを、語彙表を見て探したり、日本語サポーターと一緒に言葉を探します。

<日本のおもしろい祭り>



日本の祭りを話す時に出てきそうな言葉を、準備して多言語に訳して、準備しました。

<学校のことば>



日本の学校について知りたい学習者のために、学校に関する言葉を選んで、語彙表を準備しました。

5 参考資料 (1)学習者募集チラシ

はな にほんご かいわ きょうしつ
テーマで話す日本語会話教室
 Japanese conversation classes talking on a theme
 日语教室选择话题练习会话

にほんご になひと あつ
日本語で話したい人、集まれ!

Like to talk to Japanese? Come join us! A gente está querendo falar em japonês, vamos reunir
 La gente que quiere hablar en japonés, ¡reúnanse! 着用日语交流的人，请到这里来!
 Хотите поговорить на японском языке? Если вы любите говорить на японском языке, приходите сюда!
 Nếu bạn muốn nói tiếng Nhật, hãy đến đây!

หากใครที่อยากพูดภาษาญี่ปุ่นก็มาคุยกันเถอะ

いつ: 10月19日、26日 11月2日、9日、16日 (金曜日)
 Day / October 19th, 26th, November 9th, 16th (Fridays)
 13:30~15:00

どこ: 横浜市市民活動支援センター(JR桜木町から歩いて4分)
 Place / Yokohama Citizens Empowerment Center(4min. Walk from Sakuragi-cho Sta.)
 HP Access: http://opencity.jp/yokohama/pages/gp/idx.jsp?page_id=1773

おかね: 500円 (全部で)
 Fee / ¥500 (in all)

YOKE: ☎045-222-1173 ✉c-nihongo@yoke.or.jp







きりとり Cut Line
もうしこみ
 申请表
 Application form

なまえ
名前:
 name

くに
国:
 country

TEL:

あなたは何について話したいですか?
 What would you like to talk about? 당신은 무엇에 대해 이야기할까요 ¿De qué quieres hablar?
 请告诉我们，您想聊什么内容? Bạn muốn nói về chuyện gì? คุณต้องการพูดเกี่ยวกับเรื่องอะไรคะ? O que você quer falar?

5 参考資料 (2) 学習者向けアンケート

多言語で作成しました。毎回記入をお願いしました。

はな かいわきょうしつ テーマで話す日本語会話教室

“ห้องเรียนเกี่ยวกับหัวข้อการพูดทสนทนาภาษาญี่ปุ่น”

- いつ^{きんか}参加しましたか。คุณเข้าร่วมตั้งแต่เมื่อไหร่?
 10月19日^{がつ 19日} 10月26日^{がつ 26日} 11月5日^{がつ 5日} 11月12日^{がつ 12日} 11月19日^{がつ 19日}
- この日本語教室は どうでしたか。คุณคิดว่าห้องเรียนภาษาญี่ปุ่นนี้เป็นอย่างไร?
 とてもよかったです (ดีมาก) よかったです (ดี) あまりよくなかったです (ไม่ค่อยดี) よくなかったです (ไม่ดีเลย)
- 日本語^{にほんご}でコミュニケーションができましたか。คุณสามารถพูดสื่อสารภาษาญี่ปุ่นได้หรือไม่?
 たくさんできた だいたいできた すこしできた あまりできなかった
 สามารถพูดได้มาก ส่วนใหญ่สามารถพูดได้ สามารถพูดได้นิดหน่อย พูดไม่ค่อยได้เลย
- 他の人の話^{ほか はなし}は _____% ぐらい わかりました。
ฉันเข้าใจประมาณ _____% เวลาที่พูดคุยกับคนอื่น
- この教室^{きょうしつ}は 楽しかった^{たの}ですか。คุณคิดว่าห้องเรียนนี้สนุกไหม?
 とても楽しかった^{たの} まあまあ楽しかった^{たの} あまり楽しくなかった^{たの} 楽しくなかった^{たの}
 สนุกมาก สนุก ไม่ค่อยสนุก ไม่สนุกเลย
- この教室^{きょうしつ}で よかったこと、よくなかったことを^{おし} 教えてください。
กรุณาช่วยบอกเหตุผล อะไรที่คุณคิดว่าดี และไม่ดีเกี่ยวกับห้องเรียนนี้
* (何語^{なにご}で書いてもいいです。) (คุณสามารถเขียนเป็นภาษาอะไรก็ได้)
① <よかったこと> อะไรที่คุณคิดว่าดีเกี่ยวกับห้องเรียนนี้?
② <よくなかったこと> อะไรที่คุณคิดว่าไม่ดีเกี่ยวกับห้องเรียนนี้?

6 企画運営者のメッセージ「テーマで話す日本語会話教室」をふりかえって (1)日本語サポーター

皆さん、どんどん自由に話せるようになって、日本語サポーターも知らないことを習ってとてもよかったです。

(外国人Cさん)

日本語サポーターが日本人だけでないことが新鮮でした。多国籍の価値観の中で活動できたことはよい学びになりました。

(日本人Eさん)

学習者は日常生活に関する用語や情報をほしがっているの、まず伝えたいです。私の経験からもそれが役に立つと思います。

(外国人Bさん)



学習者の学びたいという意欲が私たちに力を与え、それがお互いの学びになるのだと、今回の教室を通じて学ぶことができました。

(日本人Fさん)

理想に近い活動になったように感じられました。まだ課題があり、もっとやってみたい気持ちもあるので、日本語教室でその課題について考えたいです。

(外国人Dさん)

日常生活の中で日本語で会話する機会の少ない人にとっては、とても良い教室だと思います。日本語サポーターの仕事は、取組みやすいテーマをどう設定するか、会話の中で日本語についての助言や示唆をどうするか、これからのポイントだと思います。

(日本人Gさん)

自分が知りたいこと、話したいことを自由に選択し、意見や感想を通じて直接的・間接的に触れ合い、実生活に活用できる場だったと思います。私自身、今後の活動を改めるきっかけになりました。

(外国人Aさん)

学習者が日本語で話したい気持ちを強く持ち、それをそれぞれに話し、他の学習者はそれを理解しようとすることで仲間意識や共感や、日本語をさらに学習したい強い気持ちが持てました。なによりも、日本語で表現することが楽しいという教室になったと思います。

(日本人Hさん)

学習者さんが自分なりの日本語を使って、とにかく発話しようとする気持や、新しい事柄を知った時の喜びを実感できました。テーマについて楽しく盛り上がったのも忘れられません。

(日本人Iさん)

(注) アンケートをもとに、一部再構成しました。

6 企画運営者のメッセージ「テーマで話す日本語会話教室」をふりかえって (2)運営サポーター・事務局 (YOKE)

「自由を保障する「ことば」の教室」

武 一美 運営サポーター

(早稲田大学日本語教育センター非常勤講師、NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ理事)

今回の教室では、日本語を使い・学ぶ人の自由が確保されていました。それは、日本語サポーターのみなさんの、確かな意思のもとに実現されていたと思います。教室開始前の企画会議で「活動を始めてメンバーの様子を見なければ、何が必要でどう進むのかは分からない」ということが自然に話し合われました。また、毎回の教室で、学び手本人にテーマとグループ選びが委ねられていました。だからといって、何も準備しなかったわけではなく、テーマ設定と教材準備は丁寧に確実に行われていました。しかし、準備した内容にこだわるのではなく、日本語を学ぶ人の様子や思いのほう尊重されていたと思います。外国から来て日本で生活している人たちは、新しい世界にワクワクする一方、日本語ができないゆえに制限されていることも多いでしょう。だから、日本語をしっかりと勉強してもらおうという考え方もあります。しかし、この教室のように、個人の思いが大切にされ、興味・関心・必要性に沿って、言いたいことや聞きたいことの自由が保障される場も大事です。それは教室だからこそできることではないでしょうか。

「次のステップは自分が決める」

朴 美真 運営サポーター

(特定非営利法人国際交流ハーティ港南台理事兼副会長)

今回の教室はちょっと変わった形の教室でした。普通の教室ならば各自の日本語レベルに合わせたグループ分けで始めるのが一般的なやり方ですが、今回は日本語レベルではなく自分が興味を持っているテーマを選び、そこからスタートする。だから日本語サポーターの立場からみると、どんなレベルの人が参加するかわからないので、毎回ドキドキしながら準備に取り組みました。学習者の皆さんに毎回自由にテーマを選んでもらい、そこから又話したい内容や興味があるトピックを決めて、さまざまな形で発展させて行く。決められた次のステップがない新しいやり方だったので、それに相応するリスクや日本語サポーターのみなさんが感じる負担も大きかったと思います。でもこのようなやり方は学習者から教室に対しての意欲と関心を招いて自ら次のステップで使う資料の準備や次回のテーマにこれはどうかという意見を話すなどの積極性を生んでくれました。自分にも何かが出来る、自分もこの教室の為に何だかの形で貢献している、そこから感じる喜びや楽しさは自信に繋がる。立場に関係なく次のステップは自分が決めることを実際に学んだ教室だったかもしれません。

事務局から

野俣恭子・山田敦子 (YOKE 日本語学習コーディネーター事業担当)

今回の試行教室は、「話したい」「聞きたい」気持ちがあふれていた教室でした。伝えたいこと、聞きたい事は、お互いに言葉を探っていくことで、達成できることを強く感じました。外国人日本語サポーターが自分の経験から学習者の気持ちに寄り添っている姿が印象的でした。学習者も安心して活動に参加していました。日本語サポーター(外国人・日本人)、学習者が一緒に作った空気、その空気の中で、自分らしさを大切にしながら、コミュニケーションを学んでいく、そのような教室であったと思います。

事務局側も仮の案を持って企画会議に臨みましたが、予想をはるかに超えて、自由な発想でいろんな意見が出ました。ゼロから作る醍醐味を支援者皆が味わい、活動をできるだけ見える化し、学習者が選択できるような工夫をちりばめました。それに応えるように、学習者もその人なりの準備を進んで行い、ことばを意欲的に獲得し、発表でその成果を示しました。笑いあふれる、居心地のいい教室になったことがなりよりだと思います。

参加メンバー

【日本語サポーター】

池田 恵 高 京善 郡 廣子 齊藤 静娟 シュミット ヨアヒム 橋本 純 日高 嘉恵
方 舜姫 村上 博美

【運営サポーター】

武 一美(早稲田大学日本語教育センター非常勤講師、NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ理事)
朴 美眞(特定非営利法人国際交流ハーティ港南台理事兼副会長)

【YOKE 事務局 (YOKE 日本語学習コーディネート事業担当)】

野俣 恭子 山田 敦子

2018 年度「テーマで話す日本語会話教室」実施報告書
～外国人・日本人がゼロから一緒に作った日本語教室～

発行日 2019 (平成 31) 年 3 月

編集・発行 公益財団法人 横浜市国際交流協会

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F

電話 045-222-1173 (多文化共生推進課) <https://www.yokeweb.com/>
